

〔国際会議〕

申 請 者	山梨大学大学院 医学工学総合研究部 教授 郷 健太郎	2015003
研究集会名	APCHI 2012: The 10th Asia Pacific Conference on Computer Human Interaction (第 10 回人間とコンピュータとの相互作用に関するアジア・パシフィック会議)	
開催期間	平成 24 年 8 月 28 日～8 月 31 日	
開催場所	くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）	
申請者の役割	大会長	

概 要：

本会議 APCHI は、アジア大洋州地域における HCI（人間とコンピュータとの相互作用）研究の中心的な国際会議として、各国もちまわりでおよそ 2 年に一度の頻度で実施されている。HCI は「人間と機械の調和の促進」を一つの基本命題としている研究実践の分野であり、記念すべき第 10 回となる APCHI 2012 では「Reflect, discover and innovate」をテーマに、これまでの HCI の歴史を振り返り、HCI 領域における科学的発見と技術革新について、今後の方向性を議論した。本会議では、学際的な HCI 領域の研究者・実践者に最新の研究や取り組みを議論する場を提供することを目的の一つとしており、キーノートスピーカーとして、安西祐一郎教授（独立行政法人日本学術振興会）、Shumin Zhai 氏（Google Research）、Marc Hassenzahl 教授（Folkwang University）、木村朝子教授（立命館大学）をお迎えして議論を行った。最終的な会議の参加登録者は 26ヶ国 255 名で、盛況のうちに幕を閉じた。

本会議に採択された論文は ACM Digital Library に収録されている。また最上位の論文は、学術文献・引用索引データベースの SCI に登録されている論文誌（具体的には、International Journal of Human-Computer Interaction 及び International Journal of Innovative Computing, Information and Control）に、上位の論文については Ei Compendex に登録されている論文誌（具体的には、ICIC Express Letters）に推薦を行った。すなわち本会議の論文は、参加者のみならず数多くの研究者に公開されることになる。このことが当該分野の学術的發展に大きく寄与すると考えられる。